

平成27年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成27年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成28年6月7日(火)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者20名、委託関係者18名ほか、計47名の参集を得て、除草剤2薬剤(8点)、生育

調節剤9薬剤(28点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成27年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. HCW-201 フロアブル DCMU:50% [*保土谷UPL 北興化学工業]	カンキツ	一年生雑草(発生前)	継	継) ・効果, 葉害の確認
2. NC-360 フロアブル キザロホップエチル :7.0% [日産化学工業]	カンキツ	一年生イネ科, 多年生イネ科	継	継) ・効果, 葉害の確認
	カンキツ	葉害試験		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AKD-8147 水溶 1-ナフタレン酢酸ナ トリウム:22% [アグロカネショウ]	カンキツ (たまみ)	摘果効果	実・継 (従来 どお り)	実) [カンキツ(温州ミカンを除く); 摘果] ・生理落果盛期(満開10~20日後) ・1000倍 十分量 ・立木全面散布あるいは枝別散布 ・効果の確認された品種 天草, 伊予柑, 清見, せとか, はるみ [清見, 湘南ゴールド, 不知火, せとか; 摘果] ・生理落果盛期(満開20~50日後) ・1000倍 十分量 ・立木全面散布あるいは枝別散布 継) ・満開20~50日後での効果, 葉害の確認 (甘夏, 伊予柑, はるみ, 天草, ぼんかん) ・1500倍での効果, 葉害の確認 ・満開10~20日後での効果, 葉害の確認 (たまみ(1000倍), 不知火, ぼんかん)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
2. AMRI-01 液体 P ₂ O ₅ :2.5% K:0.2% Ca:3.7% [甘彩六花]	温州ミカン (早生～晩生)	浮皮軽減効果	継	継) ・効果, 薬害の確認
3. イソプロチオラン 乳 イソプロチオラン :40.0% [日本農薬]	温州ミカン	着色促進効果	実・継 (従来 どおり)	実) [温州ミカン;着色促進] ・収穫20～30日前 ・2000～3000倍 ・立木全面散布あるいは枝別散布 継) ・4000倍での効果, 薬害の確認
4. ジベレリン 水溶 ジベレリン:3.1% [東京都小笠原亜熱帯 農業センター]	レモン	果皮の緑色維持	実・継 (従来 どおり)	実) [カンキツ;果皮の緑色維持] ・収穫予定7～30日前 ・10～50ppm ・散布(果実表面に十分付着するよう) ・効果の確認された品種;カボス, スダチ, 長門ユ ズキチ, へべス, レモン [スダチ;果皮の緑色維持] ・収穫予定7日前 ・5～10ppm ・散布(果実表面に十分付着するよう) 継) ・へべスに対する効果, 薬害についての年次変動 の確認 ・スダチにおける収穫予定14日前, 30日前での効 果, 薬害の確認(5ppm)
5. ジベレリン 塗布 ジベレリン:2.7% [福岡県農林業総合試 験場]	カンキツ (べにばえ)	新梢伸長促進	実・継 (従来 どおり)	実) [温州ミカン(石地);新梢伸長促進] ・新梢萌芽期 ・100mg/枝 ・新梢基部塗布 継) ・べにばえ, みはや, レモンにおける効果, 薬害 の確認
	カンキツ (みはや)	新梢伸長促進		
6. ジベレリン 塗布 ジベレリン:2.7% [広島県立総合技術研 究所]	レモン	新梢伸長促進		
7. ジベレリン/PDJ 水溶/液 ジベレリン:3.1% プロヒドロジャスモン: 5.0% [広島県立総合技術研 究所]	レモン	落果防止	実・継 (従来 どおり)	実) [カンキツ;落果防止] ・開花始め～満開10日後 ・ジベレリン10ppm+PDJ25～50ppm 十分量 ・散布 ・効果の確認された品種 温州ミカン, 不知火, 清見, ポンカン 継) ・伊予柑における効果, 薬害の確認 ・満開期～満開20日後における効果, 薬害の確認 (レモン)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
8. ジベレリン/ホルク クロルフェニユロン 水溶/液 ジベレリン:3.1% ホルククロルフェニユ ロン:0.1% [長崎県農林技術開発 センター]	ビワ (麗月)	着果安定, 果実肥大促進	実	実) [ビワ(3倍体品種, 麗月); 着果安定および果 実肥大] ・ 第1回; 花房浸漬または散布, 満開7日前~満開 時 ジベレリン200ppm+ホルククロルフェニユロン 20ppm ・ 第2回; 果房浸漬または散布, 第1回処理後35~ 60日 ジベレリン200ppm+ホルククロルフェニユロン 20ppm
9. ジベレリン/マシン 油 水溶/乳 ジベレリン3.1% マシン油97% [協和発酵バイオ]	温州ミカン	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)	実・継	実) [温州ミカン; 花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後~2ヶ月後(但し, 11~1月) ・ ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分量 ・ 立木全面または枝別散布 [不知火, はるみ, ぼんかん; 花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後~2ヶ月後(但し, 1~3月) ・ ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分量 ・ 立木全面または枝別散布 注) ・ マシン油の使用上の注意に準ずる 継) ・ ジベレリン5ppmでの効果, 薬害の確認(温州ミ カン) ・ せとみ, みはや, ゆず, 麗紅での効果, 薬害の確 認
	カンキツ (伊予柑)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (せとみ)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (はるみ)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (ぼんかん)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (ゆず)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (麗紅)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		
	カンキツ (麗紅)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油との 混用使用により更なる薬量低減)		